

Ozeki Michinobu



## 尾関 通允

愛知県木曾川町出身。法学部政治学科昭和23年卒。日本経済新聞社記者(経済部門)を経て31年～34年ドイツ特派員。その後17年間論説委員・副主幹。政府審議会の委員多数。南原繁学士会理事長当時、夕食会発足について世話人の一人として参加。

## 私にとっての図書館

法学部入学は昭和20年4月。その前の旧制高校(八高)は在学3年を2年に短縮(戦中戦後の混迷で灰色の学生生活に終始した世代に属する)。

高校2年生の後半は、軍需工場での勤労(学)作業の連続で、勉強らしい勉強はできない。私は何とか体調不良の口実を設けて高校の図書館に籠り、これはという書籍をむさぼり読んだ。美濃部達吉と横田喜三郎の両教授による「法はsoviかsocialか」の論争が殊に興味深く、これが法学部を目指す契機に。

法学部入学後の間もなくの学徒出陣でしばらく軍務に就いたが、その直後に敗戦、そして復学。郷里(愛知県木曾川町)から上京して本郷に戻ったとき、何より嬉しかったのは東大が無事だったこと。下町はもとより本郷の近辺も大空襲で無残な焼け野原になっていたが、「東大は滅びず」だった。

復学後もせっせと図書館に通った。入学時、父の従弟(大本宮陸軍部の参謀(中佐)で情報・謀略部門を担当しており、インド・ビルマの独立を支援していた。そのことは薄々承知していたが、海外事情には全く乏しいことに気付いていた)からである。卒業して日経新聞社に入ってから8年後、特派員として海外に出ることができた。図書館を含め東大の存在が大きい。



## 卒業生寄稿

## 私にとっての東大

# 次世代に伝えたい。

Nakamura Yoshitiro



## 中村 吉宏

昭和41年農学部農芸化学科卒、通産省に入省、一貫してバイオ系研究所に勤務。現在産業技術総合研究所招聘研究員。趣味は音楽とゴルフ。

## 同級生で始めたコンサルティング事業

私にとって東大は、人格形成の場でした。4年間続けた応援部吹奏楽団の活動を通して、音楽の感動を覚え、負け続ける野球部を忍耐強く

応援する精神力を養い、今でも心を通じ合える友人をつくることができました。一方学問の府として、数多くの魅力ある講義により微生物学研究者の道を触発され、如何に生きるべきかの自問自答も経験しました。

駒場、本郷それぞれのクラス会は今でも年1回は開催し、旧交を温めています。私が「東大」を強く意識したのは、この数年間の出来事があったからです。

平成20年8月、農芸化学科41年卒の同期生10名が「有限責任事業組合ABCコンサルティング」を設立したことです。私が代表に就任しました。設立のきっかけはその2年前、卒業40周年記念パーティに出席された恩師から「健康・長寿は当たり前。社会貢献を忘れるな。」と喝を入れられたことに反応して、仲間の一人が起業を呼びかけたことでした。

設立の理念は、企業・官公庁・大学等の指導的立場で培った経験を社会貢献に生かすこととし、研究開発の評価、企画、調査、講演、講座、翻訳、品質管理、安心・安全のシステムづくり、

更に町興し、村興しのアドバイス等を事業メニューとしました。

設立後約1年半を経過しましたが、18件の受注実績を重ねることができました。受注の半分は講演で食品関係がほとんどです。その他、企業のコンサルティング、研究・事業評価、申請書作成、翻訳、書籍の監修などで、特に大きな受注は、首都大学東京において文科省事業の一端を担い、大学院生向けに企画経営演習(社会人経験者講座)を企画運営したことです。この間、昨年11月には、東京ビッグサイトで開催された「産業交流展」に出展し、新たな事業展開の人脈を構築することができました。

私達の活動は、メンバーの背後に、残り40名の同級生や先輩後輩の強力なアソシエイトが存在して成り立っており、「東大」の力を日々実感しています。

東大卒業後、平凡な研究者人生を歩んできた私が、事業を始めたことに驚いています。人生何が待っているか分からない、まだまだ期待を持って生き続けたいと思っています。

お時間のある方はぜひホームページ(http://abcstinet/)を覗いてみてください。



# 赤門学友会報

**懐徳** KAITOKU  
June 2010 No.18

**第9回ホームカミングデイ開催予告**  
11月13日(土)に開催します



赤門学友会 張 富士夫会長 ご挨拶  
卒業生室長 江川 雅子理事 ご挨拶

**まったく新しいプロジェクトが始まります!**

◎ 卒業生のための新プロジェクト

卒業生インタビュー 今、東大に還る⑩

東京銀杏会・東雪会—留学生との交流

研究室をつなぐ人々⑩ 法学部 明治新聞雑誌文庫

同窓会開催報告 コミュニティレポート

キャンパス・ビュー (音楽) 音楽部管弦楽団特集

東大基金より